

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子!

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

コロナに負けない北っ子!

コロナウイルス感染症対策を最重要課題としていた学校生活も、子どもたちの健康な心と体の育成に向けて、感染対策をしながらではあります。通常の活動に徐々に戻ってきています。

十三日からは、プール水泳が始まり、まだまだ冷たい水の中ではありませんが、3年ぶりの水泳の授業をしています。今年、学年目標を到達することよりも、この三年間のプランクを克服し、水を怖がらず、自分の泳ぎ



プールの授業の様子

ができるようになるまでを目指したいと考えています。七月末までのわずかな期間ですが、「プールが楽しかった」と言えるような学習をしていきます。

また、自然学校は、一泊五日で行いました。海での活動が一泊二日、残りの三日間は、丹波少年自然の家で日帰りの活動でした。雨が降る日もあり、すべての活動ができたわけではありませんが、五年生みんな生き生きと自然の中での活動を楽しんでいました。今年度、コロナに負けない元気な北っ子を

自然学校でのカヤック



目標に、「北っ子元気大会」を開催しました。南校舎の二階から、大きな声で運動場に向かってメッセージを届けるという企画です。今回は、四年生以上の各学年から、三名ずつ出場しました。全校生に大きな声でメッセージを届けられたら、合格証をもらうことが出来ます。「北っ子、がんばれー」や「コロナになんか負けないぞー」など、出ました子たちは、全校生にメッセージを送ってくれました。ちよつとトライやるウィーク中だったので、中学生にも特別出演してもらいました。中学生からの「北っ子、さいこー!」というメッセージに、「わあ〜い」と全校生みんなとても嬉しそうでした。コロナ禍の中、大きな声も出せず、遊びや仲間との会話も制限されてきている子どもたちに、少しでも元気になれる企画を考えました。



北っ子元気大会を楽しんでいます



一学期もあと一ヶ月となりましたが、子どもたちも、職員も、元気に夏を迎えたいと思います。コロナに負けない気力と体力をこれからどんどんつけていき、一人ひとりが輝く元気な北っ子をめざしていきます。

地域の方々にお力をいただいています

子どもたちの活動や学習の中で、地域の方々にお世話になっています。さつまいもの植え付けでは、学校の近くの畑を借りることができ、畝づくりまでしていただきました。一年生〜三年生まで楽しんで苗を植えることができました。



また、昨年度「飛び出し坊や」のことが、学校運営協議会の中で話題になりましたが、予算の関係で、断念していたところ、自治振興会の予算で購入・配付が決定いたしました。八月には、各地区に配付される予定です。今年、「北っ子の生き方を育む会」の中で、「川あそび」や「さちよ未来塾」、「元気まつり」など、「コロナで中止となっていた子どもたちの事業を、再企画し、実施していく方向で話し合われています。学校運営協議会や自治振興会等、北っ子たちの心強い応援団の方々にお世話になり、大変感謝しています。

※今年度、7月8日(金)に学校運営協議会主催の「熟議」を開催します。地域の方々とともに幸世地域に住む子どもたちの未来を描きながら、学校ができることや地域ができることを考えていきます。地域からは自治会長の方々にお世話になる予定です。